

温暖化による農業への影響について農業者と検討

～市原市で指導農業士と農業士の合同研修会を開催～

千葉農業事務所改良普及課 令和3年12月16日発

市原市内では、梨やイチジクなどに温暖化の影響が顕在化してきており、その対策をとる必要があります。そこで、市原市指導農業士・農業士会は、温暖化の農業への影響について学ぶ研修会を11月24日に開催しました。当課の職員が講師となり、千葉県内や市原市内の栽培データや事例を基に、温暖化による気象の変化とそれに伴う果樹や水稲への影響について検討しました。

参加者からは、今後さらに温暖化が進んだ場合の影響を心配する声や、温暖化に対応した技術対策に積極的に取り組んでいきたいなどの意見が挙がりました。

農業事務所では、今後も地域農業の中核的な担い手である指導農業士や農業士と協力して、気候変動に対応した技術の普及に取り組みます。



講習会の様子



温暖化による被害が出た梨の品種（右）
と正常な品種（左）